



事業名 にぎわい創出に貢献するイソギク植栽の試験的事業

目的 イソギクを植えて、雑草を抑え、街の景観アップ！

地域住民・団体と連携しながら、自生するイソギクの植栽を通して11～12月の開花期に見物客を呼びこむため、イソギクのもつ雑草抑制効果により、雑草対策にかかる人力・予算を軽減し、見物客増加への取り組みに振り向けるため、試験的に小面積でイソギクを植栽し、イソギクを知ってもらうイベントを開催しながら、植栽についての実験・検証を行う。

現状 身近にスゴイ植物があるのに、どこでもやはり雑草で困っています

沼津の海岸に普通に生えている在来植物であるイソギクの大きな特性として、雑草抑制効果が挙げられます。1つは、密生することにより、地表面への日光の到達を遮断することにより雑草の生育を抑制する。もう1つは、根から分泌するアレロパシー物質（生長阻害物質）により、他の雑草の種が発芽することを抑制する発芽阻害作用を発揮し、雑草を抑制します。しかし、そんなすごい植物が身近にあるのに、街はいたるところ、雑草で困っています。

活動 イソギクというすごい植物をまず知ってもらう！

今年度は新型コロナ感染拡大の影響により、地域の方を巻きこむような植栽イベント等はすべて中止しました。

- ・ イソギクの植栽は、GWに就労支援施設の利用者たちと行いました。
- ・ 小規模にイソギク解説講座を5回行いました
- ・ イソギクのお世話を沼津特別支援学校愛鷹分校の生徒さんで行いました。



振り返り課題 イソギクを知ってもらえたか？

2020年12月に、沼津特別支援学校愛鷹分校にてイソギクについてのアンケートを実施しました。

イソギクに対する見た目の印象は、葉の状態、開花状態ともに95%以上の方より「悪くない」という評価を受け、緑化植物として十分機能していることが確認できました。

課題もあります。2019年度のこの活動初年に植栽したイソギクの生育が良くないです。植栽地の半分くらいで水がたまる傾向にあるためか、2020年の記録的な長梅雨でかなり枯れてしまいました。対策を検討中です。